

## ペプチドを介した部位特異的 RI 標識技術

12月1日（木）17:30～18:30

大阪大学医学部講義棟2階 C講堂

日本メジフィジックス(株) 事業開発部

正山 祥生 先生

日本メジフィジックス株式会社は大阪大学未来医療イメージングセンターの協力のもと非臨床 PET 分子イメージング受託サービスを展開している。PETイメージングの活用方法は PET トレーサーを用いた受容体占有率測定や RI 標識体による薬物動態評価など多岐にわたるが、その一つに RI 標識抗体による体内動態評価がある。抗体の RI 標識は、主にリジンのアミノ基やシステインのチオール基、活性化されたカルボキシルを介して抗体にキレートを修飾し、そのキレートに RI を配位するという手法が利用されている。しかし、キレートの修飾部位を厳密に制御するのは困難であるため、抗原結合部位へのキレート修飾による抗体活性の低下や、修飾するキレート数を一定にした均質な修飾抗体の製造が困難という問題がある。日本メジフィジックス株式会社では、鹿児島大学伊東教授が開発した抗体の Fc 領域に結合するペプチドについて、RI 及び蛍光の標識に関する共同研究を実施しており、当該ペプチドを用いた部位特異的な RI 標識手法を確立した。本手法は、抗原への活性を損なわない、均質な RI 及び蛍光標識抗体を製造することを可能にする。

本セミナーでは日本メジフィジックス株式会社の大阪大学未来医療イメージングセンターでの活動及び抗体の部位特異的な RI 標識手法について紹介したい。

＜略歴＞

2006年12月	九州大学大学院 薬学研究科 博士課程 創薬科学専攻修了
2007年1月	日本原子力研究開発機構・量子ビーム応用研究部門・特定課題推進員
2007年4月	日本原子力研究開発機構・量子ビーム応用研究部門・博士研究員
2009年12月	日本メジフィジックス株式会社 創薬研究所
2014年4月	日本メジフィジックス株式会社 事業開発部

主 催：未来医療イメージングセンター

連絡先：06-6879-3461

[tsunoda@tracer.med.osaka-u.ac.jp](mailto:tsunoda@tracer.med.osaka-u.ac.jp)

<http://www.pet.med.osaka-u.ac.jp/index.html>